

#### 目次

- 特集! 地域日本語教育と京都府国際センターの取り組み …… 1~2
- 府内活動団体 にほんご教室「世界はデマン」(八幡市) …… 3
- 京都府 多言語生活相談 …… 3
- JICAデスクの紹介、京都府国際センターからのお知らせ …… 4

## 特集! 地域日本語教育と京都府国際センターの取り組み

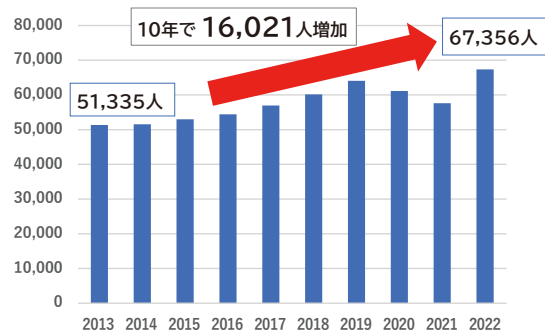
京都府国際センターでは、京都府、市町村・国際交流協会と協働で、多文化共生を阻む「言葉の壁」を取り除くため、コミュニケーション支援の取り組みを行っています。

少子高齢化、人口減少をうけて、外国人住民の受け入れ数は年々増加

京都府  
外国人住民割合 **2.6%**  
外国人住民：京都府民  
67,356人 : 2,546,951人

外国人住民 京都府国際課調べ 2022年12月  
京都府民 京都府推計人口 2023年1月

京都府外国人住民人口の推移



### 言葉の壁



言葉の壁を放っておくと例えば…

#### 行政・医療サービスへのアクセス困難

外国人住民が生活に必要な情報が受け取れない、医療が受けられないなどの困難が生じます。



#### 社会的孤立

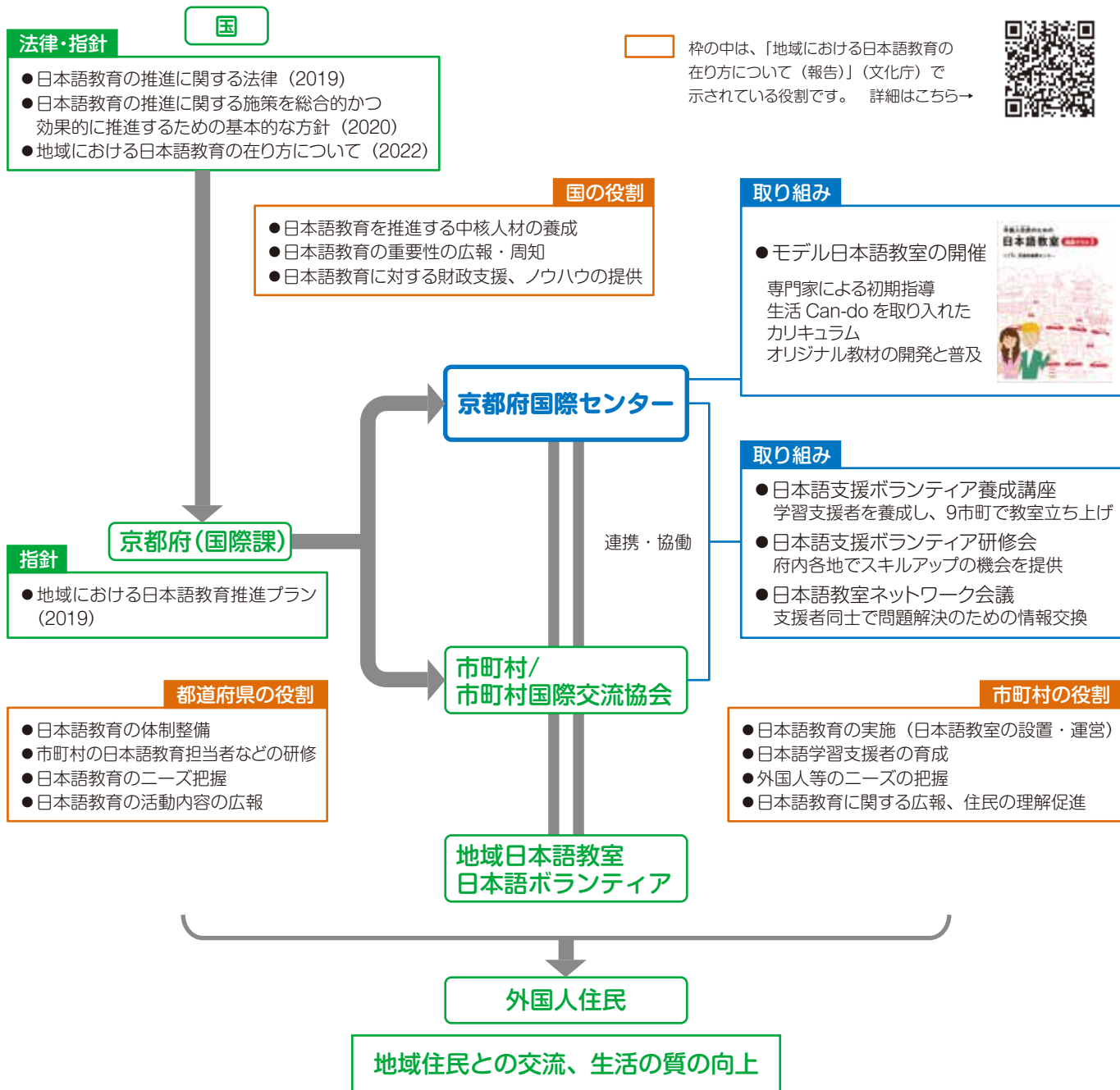
地域行事への参加や友人作り、職場での人間関係構築が難しくなることがあります。共感や意思疎通が難しいため、外国人住民の孤立を招く可能性があります。

#### 偏見・差別の助長⇒社会的緊張や摩擦へ

日本人住民と外国人住民の相互理解が進まず、対立や偏見の原因となることがあります。

## 日本語学習支援体制

「日本語教育の推進に関する法律」をもとに、京都府において「地域における日本語教育推進プラン」を策定し、京都府国際センターは、市町村や国際交流協会等と協働でそのプランに基づく具体的な取り組みを進めています。



枠の中は、「地域における日本語教育の在り方について（報告）」（文化庁）で示されている役割です。 詳細はこちら→



## 京都府「地域における日本語教育推進プラン」のポイント！

外国人住民に対する日本語教育の環境を整えるための指針

- **学習機会の確保**  
日本語教室空白地域での教室の新設、日本語学習待機者の解消、日本語学習者への専門的指導機会の提供
- **学習環境の充実**  
学習支援者の確保と資質の向上、持続可能な教室運営への支援、学習者の拡大
- **地域との連携**  
多文化共生や地域の国際化・活性化の実現



詳細はこちら↑

## 府内活動団体 にほんご教室「世界はテマン」(八幡市)

八幡市の外国人住民は現在2,357人で、人口の3.4%となっています。ここ5年間の増加率は84%で、全国で2番目と急増しています。その出身国・地域数は50を超えており、多様な言語や文化を持つ方々が暮らしています。

当教室は1996年4月に発足し、今年で27年目を迎えました。教室名の「テマン」はインドネシア語で「友だち」という意味で、最初に教室に来た学習者がインドネシアの方だったのでそのように命名されました。また、学習者と支援者は生徒と先生ではなく、対等な関係であるという意味を含めて学習者のことを「学友」と呼んでいます。

現在、2つの公民館で5教室を開催しており、学習支援は基本、マンツーマンで行っています。一方、学習支援とは別に、学友が他の教室の学友やスタッフ、地域住民と交流することを目的として、バス旅行や日本語スピーチ発表会をはじめ、日本の文化や習慣に触れてもらえる、書初めや七夕まつりなどの季節ごとの催しを実施しています。学友の家族にも参加してもらうこともあります。これらを含めて教室の運営費は、学友が働く企業に賛助金をお願いしたり、京都八幡ロータリークラブからも支援いただいています。

教室が発足してから長らく八幡市との連携はありませんでしたが、市議会議員や議会、市の担当部署へ積極的

に働きかけ続けたことに加え、2019年に施行された日本語教育推進法によって日本語教育が自治体の責務になったことにより、やっと市も動き出しました。現在では市の主催でボランティアの養成講座や研修会を実施していますし、市の多文化共生関連事業に教室も協力するなど、連携を深めています。

今後、少子高齢化によってますます人口減少が進むこの国が、さらに成長していくには外国人の力が必要です。その意味で、多様な背景を持った「住民」が地域とともに暮らす多文化共生は欠かせません。

日本語学習支援は多文化共生に向けた第一歩です。外国人が日本語を身に付けることでスムーズなコミュニケーションができ、より踏み込んだ相互理解につながり、外国人も日本人もともに住みやすい地域社会になっていくのではないかと考えています。

それには、行政による専門家の「日本語教育」と、ボランティアによる地域日本語教室の「日本語学習支援」との棲み分けと連携が、一層、重要になってくると思います。

世界はテマン代表 足立光生



日本語教室の様子



教室のみんなとさつま芋掘り

## 京都府 多言語生活相談 TEL:075-681-4800 (10:00~17:00) ※無料(通話料はかかります)

### 多言語で相談できます(23言語対応)

秘密は守ります

休館日:火曜日・祝日、12/29~1/3

◆日本語を勉強したい

◆役所での手続きがわからない

◆トラブルがあったとき、困ったときなど



日本語、英語、ベトナム語、中国語、フィリピン語、韓国・朝鮮語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、シンハラ語、クメール語(カンボジア語)、ミャンマー語、ヒンディー語、ベンガル語、ロシア語、マレー語、モンゴル語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語 ※ウクライナ語(予約制)

外国人住民

京都府 多言語生活相談

役所、専門機関



通訳コールセンター



## JICAデスクの紹介

### Me ma wo akye (メマオアーチ) ※ガーナの言葉で「おはよう」

2023年4月より京都デスクを担当しています西川 玲奈と申します。京都に生まれ育ち、関東で養護教諭(保健室の先生)として働いたのち、青年海外協力隊としてガーナに派遣されました。ガーナは学校保健分野に力を入れていて、ガーナにも保健室の概念が少しずつ広がってきています。私は残念ながら、コロナの影響で任期短縮となり、すぐに帰国となりました。2年間全うできなかった後ろめたさのようなものを背負いながらも、社会に貢献し、誰かの役に立ちたいと感じ、経験と免許を活かし、学校現場に戻ることにしました。しかし、学校教育と国際協力の両方を経験した私は、国際協力にもっと携わりたいという思いがあり、国内で国際協力のサポートができるJICA京都デスクを選びました。

京都は古い歴史を残しつつも、新しいものも融合させて、新しい文化を作り続けている魅力あふれるまちです。「日本といえば京都！」と海外からの知名度も高いこの京都で、府民のみなさまには【国際協力】を身近なものとして感じていただきたいと思っています。一緒に京都の国際協力を盛り上げていきましょう。



ガーナの子どもたちと一緒に

## 京都府国際センターからのお知らせ

### ●外国人のためのにほんご教室【入門・初心者向け】

■月・木【基礎クラス】 受講料6,000円/20回

2023年10月2日(月)~12月14日(木) 10:30~12:45  
クラスⅠ(対面 15名、場所:京都府国際センター)  
クラスⅡ(オンライン 10名)

■土曜【会話クラス】 受講料4,000円/10回

2023年10月7日(土)~12月9日(土)【基礎クラス修了レベル以上】  
クラスⅠ(オンライン 10名)10:00~12:15  
クラスⅡ(オンライン 10名)13:00~15:15

※インタビューの結果、受講できない場合があります。

詳細: [www.kpic.or.jp/nihongo/kyoshitsu.html](http://www.kpic.or.jp/nihongo/kyoshitsu.html)



### ●就学前の外国につながるをもつ子どもと保護者への支援

日時: 2023年9月30日(土) 13:30~15:30

場所: ガレリアかめおか 2階大広間

内容: 就学前の子どもや保護者、保育・幼児教育施設が直面する課題と取り組みについて

講師: 山根 絵美さん(公益財団法人とよなか国際交流協会 職員)  
宮島みどりさん(「やさしい日本語」を広める会 代表)

参加費: 無料

定員: 30名

詳細: [kpic.or.jp/kodomo/siensya\\_kensyu.html#kameoka](http://kpic.or.jp/kodomo/siensya_kensyu.html#kameoka)



### ~賛助会員を募集しています~

当センターが実施する様々な地域国際化事業や団体運営の財源に充てるため、趣旨にご賛同いただける皆さまを対象に賛助会員を募集しています。

【会費】個人会員/年額 1口 3,000円  
団体会員/年額 1口 10,000円

【特典】・センター情報誌など定期刊行物の送付  
・当センター主催の各種講座等への優先参加  
・当センター内の有料スペースを会員料金で利用可能  
・他団体との提携による会員特典

入会方法など詳しいことはHPをご覧ください。

[www.kpic.or.jp/about/sanjo.html](http://www.kpic.or.jp/about/sanjo.html)



### パスポート写真撮影のご案内

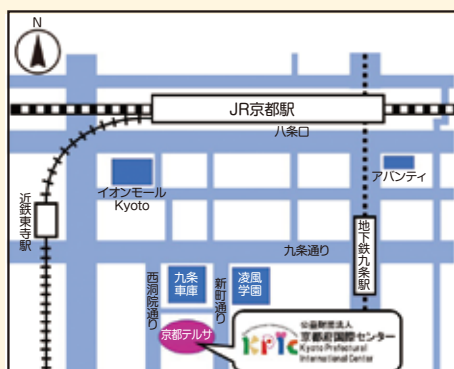
パスポートの規格に合った写真を責任を持って撮影します。

【場所】京都駅ビル8階  
(京都府旅券事務所の隣に併設)

【営業時間】月曜日~金曜日 9:00~16:30

【撮影料金(税込)】  
2枚 1,800円/4枚 2,300円/6枚 2,800円

【お問い合わせ】  
TEL 075-342-5002



## 公益財団法人京都府国際センター

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ東館3階

Tel : 075-681-2500

Fax : 075-681-2508 E-mail: [main@kpic.or.jp](mailto:main@kpic.or.jp)  
[www.kpic.or.jp](http://www.kpic.or.jp)

facebook [www.facebook.com/kpic.kyoto](http://www.facebook.com/kpic.kyoto)

開館時間/午前10時~午後6時

休館日/火曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)

公益財団法人京都府国際センター NEWS Autumn 2023 秋号 第99号  
編集・発行/公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center

